

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三浦市消防本部・消防署庁舎建設工事	階数	地上4F
建設地	三浦市初声町下宮田字長作5-11,12	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年12月22日
敷地面積	2,493 m ²	作成者	株式会社白川設計
建築面積	1,019 m ²	確認日	-
延床面積	2,648 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 建物外壁は頑強で堅牢なイメージとするためにコンクリート打放とし、最も視認性の良い位置に円形のLow-Eガラス複層カーテンウォールとすることで、シボリックを演出すると共に省エネにも配慮している。また、木製パーラーを使用することで、南西側に位置する小網代の森との調和に配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を使用することや適切な換気計画とすることで、空気質室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、建物全体のコンセプトや機能が明確であり、適した内装を計画し、建物利用者の快適な居室環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 空調屋外機を屋上、また受変電設備を屋内に計画することで、景観に配慮している。また、道路境界から後退した建物配置とし、街路にゆとりをもたせ、可能な限り緑化し、周辺環境に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 外壁・屋根の適切な断熱により外皮性能を向上させると共に、LED照明等により設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」チェックリストを基に、光害抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される